

事務事業名	ごみ処理事業	整理番号	34102-000
所 管	R D Fセンター 管理スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 10年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等
基本計画における位置付け	基本政策	3-4 資源循環型社会の構築	関連 2-4-3 良好な生活環境の確保
	政策	3-4-1 適正な廃棄物処理とリサイクルの推進	政策

**事務事業の内容**

目的 (何のために)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく、可燃性一般廃棄物(ごみ)の処理及び廃棄物循環型社会構築のため
対象 (誰・何を)	御殿場市及び小山町の家系系・事業系一般廃棄物(可燃ごみ)
手段 (どのようなやり方で)	ごみを固形燃料化して、広域管内の施設事業所及び管外の事業所等で燃料として消費していただく(サーマルリサイクル)。 受入時間(平日)8:30~16:1:30 (土曜日)8:30~11:45 操業時間7:30~23:00
成果 (どのような状態にしたいか)	資源循環型社会の構築を目指したごみ処理
事務事業の背景・住民の意向	資源循環型社会の構築を目指したごみの再利用(サーマルリサイクル)
見直し改善の経過	プラント機器の大改善・R D F消費先の開拓・ごみ検査分別啓蒙の実施・臭気対策・法改正による改善工事

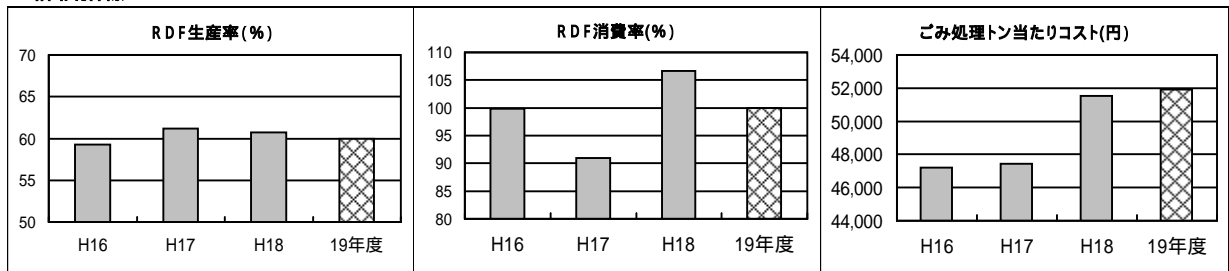
**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	
平成16年度	塵芥処理量	29,600.88トン
	R D F生産量	17,579.43トン
平成17年度	塵芥処理量	30,564.96トン
	R D F生産量	18,706.24トン
平成18年度	塵芥処理量	31,570.45トン
	R D F生産量	19,167.10トン

投入コスト(千円)

年度	直接経費(上段)	人件費(下段)
16年度	~1,200,000	~200,000
17年度	~1,200,000	~200,000
18年度	~1,200,000	~200,000

**評価指標**



**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	悪い。ごみ処理は、環境に配慮して、安定処理、低コストで処理することが要求される。しかし、環境問題は現在解決されたが、安定処理が達成されていない、処理費が掛かりすぎており良い評価を得ることはできない。	今後の方向性
	有効性		
	効率性		
一次評価	D		手段改善
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	C	当面現在の処理方法を続けなければならない中で可能な限りの処理経費の削減に努められたい	手段改善

**改革プラン**

平成19年度からの対応	施設運営に係る維持管理費の抑制のため、ごみ減量、ごみ質の向上。 他のごみ処理方式等の検討 固形燃料不適物(粗大破砕物・羽毛布団類)の民間委託処理
平成20年度以降の対応	施設運営に係る維持管理費の抑制のため、ごみ減量、ごみ質の向上。 継続的なごみ処理能力の確保(10トン/h) 其他のごみ処理方式等の転換・P F I方式等の検討
改革により予想される成果	ごみ処理経費の削減